

第6回宇宙地球環境研究所一般公開・特別講演会が、名大祭に合わせて、2024年6月8日（土）に開催されました。この時期は梅雨で天気が悪いことも多いのですが、今年は梅雨入りが遅れたおかげで、暑すぎるくらいの好天に恵まれ、計230名以上の方にご来場いただきました。企画としては、ふだんの研究・教育の現場である研究所共同館ⅠとⅡを使用し、各研究部の研究内容を一般向けに分かりやすく紹介する「研究室公開」、毎年テーマを変えて、宇宙地球環境研究所（ISEE）の最先端の研究の一端を紹介する「特別講演会」が行われました。また、6月8日（土）と9日（日）の二日間は、豊田講堂シンポジオンにて、名大祭の「合同展示」企画に参加し、ISEEの紹介を行いました。各企画については、下記の写真及び説明をご参照ください。

研究室公開

今年は、研究所共同館Ⅰの3階から8階までの全ての階と共同館Ⅱの2階を用い

て実施しました。各研究部の特徴を活かし、かつ、工夫を凝らした体験型の展示企画が多く、お子様からご高齢の方まで幅広く来場者の皆様にお楽しみいただきま

した。実際、来場者アンケートでは、「また参加したい」という声が圧倒的に多く集まりました。当日の具体的な展示内容は以下の通りです。

主な展示内容

- 太陽と地球が織りなすストーリー ● 宇宙にさわってみよう ● 宇宙線を見よう ● 電波でとらえる宇宙の風
- 地球の空気と微粒子をとらえます ● VRで雨雲の内部を探る ● 扇風機つき回転水槽実験 ● 「もの」の年代を測ってみよう

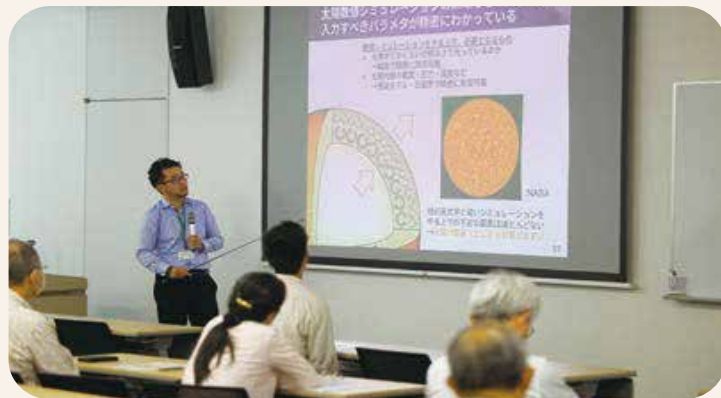


特別講演会

研究所共同館Ⅱの2階ホールにて、6月8日（土）の午後に、特別講演会を開催しました。最初は、南雅代教授が「放射性炭素で解き明かす地球・人類の歴史」という題で、放射性同位体元素を利用した多

様な研究の話を熱意たっぷりに分かりやすくお話しされました。続いて、堀田英之教授が「大規模数値シミュレーションで解き明かす太陽の姿」という題で、スーパーコンピューター「富岳」を用いた世界最大規模の計算機シミュレーションによ

る太陽内部の最先端の研究成果について、ユーモアを交えてお話しされました。いずれも、ふだん聞くことのできない興味深い話題であり、聴衆の皆様にとって非常に満足度の高い講演だったように思います。



ちょっとすてきなこぼれ話。。

名大祭一般公開に参加してくれた小学生のお子様が、6Fの気象大気研究部で開催していた催し物や実験で体験した内容を夏休みのしらべ学習に活用してくれました。

研究所へ送って頂いた発表作品の一部をご紹介します。
(ご本人ならびに保護者様のご了解済みです)

雲と天気のみつ

もくじ

- ・はじめに p.1
- ・雲のゆき方と天気記号 p.2
- ・雲のいろいろなでき方 p.5
- ・雲の色と天気 p.14
- ・雲のふけ p.20
- ・雲のことを教わりました p.23
- ・こんな雲みつけたよ p.26
- ・外国の雲空がみた雲 p.26
- ・まとめ p.31
- ・別冊資料 p.31
- ・毎日の天気 雲のかんきき

しゃじ
なごや大学
宇宙地球かんきょうけんぎょうじょ
たかはしのぶひろ先生に
雲のことを教えていただきました。
たくさん 教えてくださり
ありがとうございました。

